ニッセイ財団

元気っこFORUM

VOLUME 10
2005年4月
GENKIKKO FORUM

編集・発行／財団法人日本生命財団　〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号 日本生命今橋ビル4階　TEL.06-6204-4014　FAX.06-6204-0120　URL http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

遊びながら、森が育つ、人が育つ。
子どもたちが心に刻む「ふるさと」になる！

冬は雪が2m以上に。コマランドの前はクロスカントリーのゲレンデになります。歩くスキーやカンジキを履いて森の中に分け入ると、ウサギやタヌキの足跡が！　木の上に残ったキノコに手が届く楽しさも。

一握りのリーダーを育てるつもりはありません。大多数の来ない子をどうするかが重要な問題です。虫が嫌いな子、汚れるのが嫌な子、他人と付き合えない子。この森に誘い込む方法に知恵を絞ります。

「クロウシクン　熊ニマチガワレタンダッテ？ウン、山ニ牧場ガアルコトシラナカッタノカナ…」隣は牧草地、牛が機嫌の良いときは相手をしてくれます。

赤城コマランド（新潟県長岡市）

街の東、丘陵地帯に残る里山。昔は炭焼きの場でもありましたが、いつしか人も立ち入れない荒れ果てた森に。そこが数年前から冒険遊び場に変身を始めました。
現代社会の過剰管理から子どもたちを解放して自然の中でのびのび遊ばせようと、地区の大人たちが、ここに注目。“危ないことや秘密のこと、ちょっぴり悪いことも経験させてあげよう”自由と責任と社会性を子どもなりに体得できればと考えたのです。遊び場作りは荒廃した里山を再生しながら徐々に進行中。「ロマンと冒険の森」を合い言葉に、楽しく遊んでいたらいつの間にか人も森も豊かに育っていたという、肩の凝らない運動を工夫しています。
（世話役：山川成雄/TEL.090-3215-8256）

「つくってくれる？」が「つくりたい！」に 遊びを知らない子どもたちが変わっていく。

“えーっ、ブランコとかないの？”2年目のコマランド。総合学習できた地元の小学生は面食らうばかり。その頃は遊具もベンチも何もない森や広場だけ。出来合いのテーマパークに慣れきった今の子どもたちは、ひとかたまりになって、探検するぐらいしかできません。それでも何度か訪れ、木に登ったり、池にはまったり。森に慣れた頃に、あのイベントが。秘密基地づくり！森のあちこちに枯れ枝を集めた基地が建ち並びました。“もっと、いろいろ作りたい！ここにブランコ、あそこにベンチ！”やがて、小さな手で作られた遊具があちこちに並び始めました。ちょっと不格好かもしれないけれど、森の中にしっくりとけ込んでいます。そして、シンボルの「ツリーハウス」。半年がかりで大人と作り上げました。世話役さんは言います“子どもたちに手伝わせると倍も手数がかかって、思うように出来てこない。でも子どもたちは間違いなく成長する。だから手間は惜しめません”

たくさんの人が森の楽しさにふれる 年2回の大イベント、植樹会

最初は地区だけで始めた活動ですが、いまは、あらゆる人に開放しています。とくに春と秋には植樹会という特別企画で多くの人を招き入れます。まず一人一人が苗木を植えることで山との関わりをつくり、その後ゆっくりコマランドでの遊びを満喫してもらうのです。森を一周するトレッキングコースを案内したり音楽会を開いたり。もちろん名物マタギ鍋やバウムクーヘン、ピザパイ、薫製づくりなど美味しいことも盛りだくさん。一度ここで遊んだ人はコマランダーと呼ばれます。（山の整備や運営に協力してくれる人はマタギ衆です）みんなで未来のために植えた木は、この4年間で5,000本を超えました。成木に育つには30年から40年。いや100年かかるかもしれません。子どもたちが親になり、我が子を連れて、また植樹する、そんな永いスタンスで続けていきます。

その時々の身の丈に合わせて 前に向かって続けていく

昨年秋、この地帯を激震が駆け抜けました。しかし、コマランドは無事でした。しっかり根を下ろした森の木々が守ってくれたのでしょう。こんな時だからこそ、元気な顔を見せ合いたい。少し遅れた植樹会は復興祭となりました。基礎から滑り落ちたログハウスを元にもどして、その竣工式。神楽舞や山で採れたキノコがたっぷりの鍋やピザで盛り上がりました。峰続きの山古志村の小学生40数名も遊びにきて、復興祈念の植樹をしてくれました。

広がれ元気情報のネットワーク！

“元気っこFORUM”はニッセイ財団がS54年から“広がれ、元気っこ活動”として行っている「児童・少年の健全育成助成」の助成先9245団体をFORUM会員とし、会員から寄せられた声をもとに編集しています。“あっ、こんな活動をしている仲間がいる！”“こんな計画があるのか！”がんばっている全国の仲間たちを応援したり、意見を交換しあったり。H17年度323の新規FORUM会員を迎え、そんな情報の輪が広がっていく広場に育てていきたいと考えています。